

G o o g l e f o r E d u c a t i o nについて

1 システムの概要

G o o g l e f o r E d u c a t i o nとは、G o o g l eが教育機関に向けて提供している「これからの教育現場に最適なICT環境」を実現するソリューションサービスであり、G I G Aスクール構想の実現に向けて文部科学省が例示する3つのアプリケーションのうちの1つである。

G o o g l e f o r E d u c a t i o nは「G S u i t e f o r E d u c a t i o n」, 「G o o g l e C l a s s r o o m」, 「c h r o m e b o o k」の3つで構成される。

このうち、オンライン結合にかかるのはクラウドを活用して協働学習を促進する「G S u i t e f o r E d u c a t i o n」及びオンライン経由での生徒へのフォローアップや学習管理を支援する「G o o g l e C l a s s r o o m」である。

G o o g l e f o r E d u c a t i o nを利用することで生徒自身による「主体的・対話的で深い学び」を促す「アクティブラーニング」、プログラミング思考を身に着ける「プログラミング教育」及び学習した内容や調べた内容をプレゼンテーションで発表する「探求型学習」等，“学習したことをどんなことに活かせるのか”を重視した教育がしやすくなる。また、児童・生徒の学習状況をクラウド上でデータとして管理することで、各児童・生徒の習熟度に応じた教員と児童・生徒との1対1によるフォローアップができるようになり、誰一人取り残さない学習環境を整備することができる。

こうした新たな学習環境の整備により、従来、紙によって運用していた授業準備等もデータによる管理、生徒への配布が可能となり、教員の校務にかかる時間が短縮化され、授業及び生徒指導等への時間確保につながるものと考えられる。

2 G o o g l e f o r E d u c a t i o nにアクセスできる者
各学校の児童生徒及び各学校教員

3 閲覧できる個人情報

(1) 各学校教員

児童・生徒の名前，学年，学級（クラス），性別

(2) 児童・生徒

自身の登録した児童・生徒の名前

4 G o o g l e f o r E d u c a t i o n の公益上の必要性について

当該クラウドサービスを利用することでオンラインによる授業の実施が可能となり，緊急時においても切れ目ない学習環境，教育の機会提供をすることができる。また，児童・生徒一人一人との双方向型の一斉授業が可能となり個人個人に最適化された学習の提供が可能となる。更に，I C T の活用により，教師の授業準備の負担が軽減され教員の労働環境改善が実現される。

5 個人情報の保護に必要な措置

当該クラウドサービスでは，ユーザーとクラウドサービスとの間で行われる全ての送受信に対してH T T P S（S S Lによる通信の暗号化）を適用し，また，当該クラウドサービスにかかるすべてのサービスで前方秘匿性（P E S）の技術をしており，将来に渡ってデータの秘匿性を守ることができる。更に，第三者独立機関による監査により，当該クラウドサービスにおけるデータの取り扱い方と契約責任についてはI S O / I E C 2 7 0 1 8：2 0 1 4に準拠していることを確認。当該クラウドサービスに関する情報セキュリティ管理体制及びデータセンターにおけるセキュリティ体制についてはそれぞれI S O 2 7 0 1 7，I S O 2 7 0 0 1の認証を取得している。

※P E S：鍵交換プロトコルを利用する手順において，そのセッションでしか利用しない一時的な鍵ペアを作成し通信すること。仮にこの一時的な鍵ペアが漏えいしても，暗号通信が解読される範囲を一部に限定することができる。

※I S O / I E C 2 7 0 1 8：2 0 1 4：クラウドサービス事業者がパブリッククラウド上で管理する個人情報の保護に焦点を当てた

国際規格。個人情報取り扱い方法における正確性やシステムの堅牢性、運用における透明性などにおいて、世界標準に準拠しているといえる。

※ISO 27017：クラウドサービスに関する情報セキュリティ管理策のガイドライン規格。

※ISO 27001：情報セキュリティ全般に関するマネジメントシステム規格。

6 地方自治体における導入実績

(1) G Suite を活用している学校

【公立初等中等教育】

埼玉県（各県立高等学校），神奈川県（各県立高等学校），東京都豊島区（各区立小中学校），東京都町田市（各市立小学校・中学校），佐賀県有田町（各町立小学校・中学校），奈良県（各県立及び市町村立小学校・中学校），栃木県益子町七井中学校，茨城県古河市立三和東中学校，山形県立酒田光陵校，北海道教育大学附属函館中学校 他

【私立初等中等教育】

聖母女学院小学校・中学校・高等学校，広尾学園中学校・高等学校，西大和学園中学校・高等学校，浅野中学校・高等学校，八千代松陰中学校・高等学校、国際基督教大学高等学校，白陵中学校・高等学校 他

【高等教育】

北海道大学，東京大学，一橋大学，筑波大学，岡山大学，九州工業大学，慶應義塾大学，早稲田大学 他

(2) GIGA スクールスクール構想で Chrome Book 導入で運用をする自治体

【都道府県の共同調達】

奈良県 Gsuite アカウントは、県内全小中高等学校児童生徒に配布済み

鹿児島県 市町村名非公開

埼玉県 北本市，伊奈町，川島町，神川町及び長瀬町

兵庫県	県立大付属中，豊岡市，赤穂市，小野市，穴栗市，たつの市，多可町，市川町，福崎町，太子町，上郡町及び播磨高原広域事務組合
山口県	市町村名は，入札参加業者に公開
長崎県	市町村名は公開されていない2市町以外とのこと
滋賀県	守山町
石川県	市町村名は公開されていない
愛知県	江南市及び豊明
和歌山県	新宮市，那智勝浦市，太地町，古座川町，北山村及び串本町
愛媛県	今治市，西条市，四国中央市，上島町，内子町，鬼北町，愛南町，南宇和郡愛南町篠山小中学校組合教育委員会
高知県	宿毛市

【独自調達】

相模原市，兵庫県稲美町，北海道石狩市，富山県富山市

7 契約終了に伴うデータの取り扱いについて

契約が終了する場合，商業上合理的な期間の後 Google は Google のアクティブサーバーで該当児童・生徒のデータへのポインターを削除し，順次上書きすることによって該当児童・生徒のデータを削除する。また，要請に応じて，各当事者は，商業上合理的な努力によって直ちに相手方のすべての機密情報を速やかに返却または破棄するものとする。